

令和元年 第2回 藤枝市デスポーザプロ研修を開催

企画広報委員会

直接投入型デスポーザを実施しているエリアでは、デスポーザへの認知が低くなかなか普及が進んでおりません。そこで、当協会では、「正しい場所で正しくデスポーザをご使用していただく活動」として、藤枝市の業者各位にデスポーザのプロになっていただくことを目的に、2回目のデスポーザプロ研修を開催いたしました。

- 日時 : 令和元年 10月4日(金) 14:00~16:00
- 場所 : 藤枝市浄化センター 小会議室他
- 主催 : NPO 法人デスポーザ生ごみ処理システム協会
- 協賛 : 藤枝市環境水道部下水道課
- 参加者 : 12名

まず、西総務委員長から、協会活動での本研修会の位置づけ等のお話があり、金子企画広報委員長を講師にして、当協会の直接投入型デスポーザガイドライン(案)に沿って、基礎知識や、設置方法、屋内排水管の留意点についての座学で知識を習得しました。

次に、屋外に設置したデスポーザ展示台で、参加者各位が実際に標準生ごみを破碎し、破碎音や利便性を体感しました。

また、デスポーザのプロ知識として、投入不可とされている大量のアザリやバナナ(へた)、スプーン、ビニール袋、枝豆(さや)、鳥の生皮等の破碎状況を確認しました。

デスポーザはすりつぶす構造のため、ビニール袋が切断されずにそのままデスポーザ内に残ることから、生ごみ処理システムの最初のスクリーンとして機能することを確認いたしました。

実機体験の最後に屋内に場所を移し、ライフホーム様の指導のもとに参加者に施工を体験いただきました。細かな作業がありデスポーザの『向き』の制約があるなど難しい点もありましたが、概ね比較的容易に施工できる製品であるとの参加者の感想でした。

最後に、会議室で第1回の研修で参加者から要望のあったデスポーザの提案例や不具合対応のトークスクリプト案を持ち帰り、次回までに改善点等を提案していただくことにし、藤枝市下水道課の佐藤係長から総括をいただき、閉会といたしました。

今回は、デスポーザ実機を目の前にした研修であることもあり、施工者や技術者の本領を發揮し活発な研修となりました。

次回は2020年の2月に専門的な排水試験結果についても共有し、さらにデスポーザ技術のレベルアップを図る予定としております。



写真—1 座学



写真—2 デスポーザ設置実技